



さつきが丘 9月号

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/satsukigaoka>



生かされている・生きている・生きていく…

校長 仲川 由佳理

今年の夏も、暑い！それ以上に、気象の異変や自然の威力を感じざるを得ない夏でした。人間がいくら頑張っても自然の威力には勝てず、地球上に命を授かった私たちは、この地で生きることを許され、生かされているのだと思いました。それでも、新しい技術で災害に耐えられるようにと工夫・努力する人間社会。自然と共存しながらこれからも生きていくのだと改めて実感し、日々の生活に感謝する心境でした。

さて、私たち教職員の夏は、新しい情報を取り入れる繁忙期です。それぞれ職員は様々な所に出向き、体験し、学び、まるで子どものように目をキラキラさせて充実した日々を送ることができたようです。すべては子どもたちと再会し、一緒に学びの時間を共有するためです。夏休み前半・後半は、合同で研修を行いました。後半の研修には、キッズのスタッフにも参加してもらい、「危機管理研修」を行いました。多くの大人が同じ感覚や目線で、豊かな子どもの育成に携わっていきようにしていきます。



最後に、ある番組の中で紹介された2つの企業の話です。

- ①世の中にないものを創る。技術で世の中を変える。製品を創り出したなら、それを作る機械が必要。だから機会も造る。そして、企業に売り出す。失敗は、次のステップになる、が分かる人。・・・容器を作る会社（身の回りの容器や缶のプルタブはこの会社の製品）
- ②自分で仕事ができる人。だから縛られ嫌いもある。しかし、組織となりチームで仕事をする、より良い大きな仕事ができる。一人ひとりが自負心、自立心を持って仕事をしている。・・・（東京タワー、東京スカイツリー、クイーンズスクエア、

スーパーカミオカンデ。結構有名な建物を造る会社だった）

夢中になって、自分の「好き（仕事）」に取り組む様子がうかがえました。本校職員の姿が頭に浮かび、同時に、さつきの子どもの将来の姿にも見えました。何かに夢中になって生きていく…。素敵な生き方だと思います。

元気な子ども達と再会し、学校が始まりました。前後期、節目の時期も近づいています。自然環境の変化に順応しながら、安全に生活していきたいと思っています。

長年、本校で飼育されていたウサギの「ミルク」が（昨年度から体調が心配されていました）、この夏休み中に亡くなりました。かなりの高齢でした。8月27日の朝会で子ども達には話をしました。ここにお知らせします。